

経営後継者研修だより

CONTENTS

利益・資金計画策定分野の講義がスタートしました。

10ヶ月間の経営後継者研修（本研修）は、3月から6ヶ月目となり後半を迎えます。これまでは自社の現状把握を主体とした講義・分析でしたが、今後は自社の未来を描くための講義・分析にシフトします。その第一弾として、自社利益・資金計画策定に向けての講義が始まりました。

本研修は、財務知識の習得に特に手厚いカリキュラムとなっており、「わかる（基礎力）できる（応用力）やってみる（実践力）」のステップアップ方式により、確実な財務知識の向上・定着を目指します。

3月は財務分野の「できる（応用力）」として、「財務総合演習」を実施します。財務総合演習は、事業計画が単なる数字の掛け算といった「仏作って魂入れず」にならないよう「いつ、誰が、何を、どうやって」等、実際に戦略を動かせるようなイメージを持って事業計画を作成できるようになることが目的です。

研修生は、事例企業の内部環境調査として既存経営資源等の現状把握、外部環境調査として競合他社の動きや将来の人口動態を見据えながら需要予測を行い、

事例企業のターゲット顧客に合わせた戦略作り、戦略を具現化するための売上・利益計画、人員計画、投資・回収計画等を立案し、実際の企業でも行われる流れで、事業計画の作成に取り組みました。今後は、「財務総合演習」で学んだ戦略と利益・資金計画の一致をイメージしながら、「やってみる（実践力）」として、自社利益・資金計画策定に臨みます。

派遣元企業の皆様には引き続き研修生が学びやすい環境への支援をよろしくお願いいたします。



事業計画の発表風景。事例企業は身近で検討しやすいサービス業。

第39期生広報委員に利益・資金計画策定分野についての気づきを伺いました。

投資の意思決定について表面的な知識はあったものの、自社は製造業ではないのであまり関わる機会のないものだというイメージを持っていた。今回の演習の中で事例企業の投資について計数に基づく分析方法を学び、その認識が覆った。市場調査、需要予測、中長期計画の策定など投資の意思決定に関わる具体的な分析を通して、自社にとって必要な知識だということを切実に感じ、大きな学びとなった。自社の将来に向けて計数に基づく意思決定・経営管理を行っていくべく、利益・資金計画策定に臨みたいと思う。

[(株)イマック 奥谷 奈生]

利益・資金計画は企業の中長期的な指針の一端となるものです。計画段階で無理のあるものは当然立てられませんし、かつ企業を存続させるための計画を立てる必要があります。頭ではわかっているもいざ実践をしてみると自分の立てた計画に無理があることや現実に即していなかったりすることが理論と感覚の両側面で理解することができました。講義においてはまず数値の作成について仕組みと効果を適切に理解することが大切であると感じました。[(株)田中組 田中 一成]

INFORMATION

東京校 企業研修課からのお知らせ

◆第40期経営後継者研修 第一次募集締め切り間近です。

第一次募集の締め切りは、3月29日（金曜）です（なお、第二次募集締め切りは、4月26日（金））。定員になり次第、募集を締め切ります。ご受講を検討されている方は、お早めにお申し込みください。

◆経営者・後継者のための事業承継セミナーのご案内（4/17 東京校部開催）

経営後継者研修の受講をご検討されている方のご参加をお待ちしております。[詳細はこちら](#)